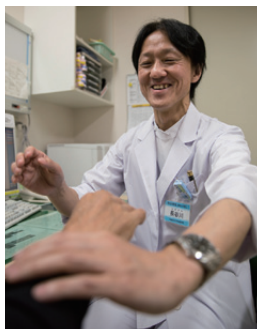


医療 >>> vol.39  
最前線

## 整形外科

長谷川教授は手の機能を熟知する手外科専門医、細微な手技を持つ整形外科専門医、美容的要素に精通する形成外科専門医の資格を持ち手術にあたっている。この3つの専門医資格を持つ医師は全国的にも少ない。



Report!

外科医として  
決して諦めない心

by 川崎医科大学附属病院

## ■認定医・専門医・指導医

日本整形外科学会認定整形外科専門医・認定スポーツ医・認定リウマチ医・認定脊椎脊髄病医、日本手外科学会手外科専門医、日本形成外科学会認定形成外科専門医

## ■専門分野

手外科、四肢先天異常、四肢再建、マイクロサージャリー、リンパ浮腫



マイクロサージャリーを用いた指、手足の再接着術、再建術。

マイクロサージャリーをご存じだろうか。簡単に説明すると「顕微鏡を用いて約10倍から30倍に拡大して行なう手術」。長谷川健二郎教授は、この極めて高度な手技と知識が要求されるマイクロサージャリーを駆使して、年間約60例もの高難度な手術を手がける第一人者。この分野の先進国であるシンガポール国立大学病院などでキャリアを重ね、現在は指や手足の再接着術、小児の先天異常、悪性腫瘍切除後の再建術など、専門医として当科の最前線を担っている。

「現在、当科は再接着術では県下の中心的存在。マイクロサージャリーの研究、手術ではわが国をリードしていると自負しています」。

新しい手術法の研究に余念がない長谷川教授。ウルトラマイクロサージャリーと呼ばれる外径0.3〜0.5ミリ以下の超微小血管吻合では、独自の手法を考案、リンパ管静脈吻合術などに応用し、学会で論文発表も行なっている。

「外科医として一番大事なのは『諦めない心』。粘り強く冷静に状況に向き合う姿勢が大切です。そのために不可欠なのが技術、知識、経験、そして環境。四つのうちどれが欠けても高いレベルの医療を提供することが難しくなります。幸い当院は大学病院としての恵まれた環境、各科の垣根を越えたフレキシブルな風土が根付いています。次世代の若い医師に高い技術と諦めない心を伝えるのが私の務めだと思っています」。